

施策番号	1703		
施策名	食や生活環境の安全・安心の確保		
概要	食の安全・安心の確保や公共の場での禁煙の推進等，地域における衛生的な生活環境の向上により，市民や観光客の健康を守る取組を推進する。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する主な分野別計画等	京都市食の安全安心推進計画（平成23年度～27年度） 京都市たばこ対策行動指針		

施策の評価

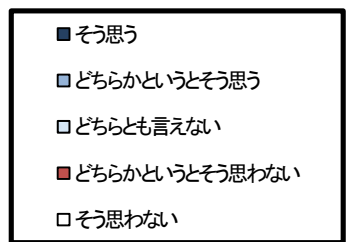
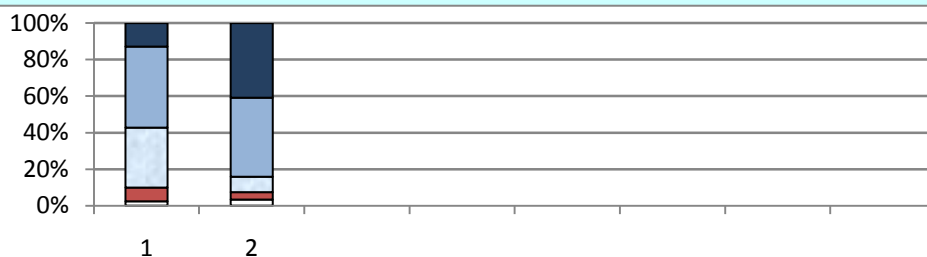
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 京・食の安全衛生管理認証制度認証数(件)	-	b	74	83	114	72.8%	e	1.00
2 40歳以上75歳未満の非喫煙者の割合(%)	-	c	84.8	85.7	87	98.5%	b	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		b	客観指標総合評価				d	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 安心して食べられる食品が手に入るなど，衛生的な生活環境が整っている。	70 12.8%	242 44.4%	179 32.8%	41 7.5%	13 2.4%	545	b	
2 公共の場では禁煙が進んでいる。	232 40.8%	246 43.3%	48 8.5%	23 4.0%	19 3.3%			568
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							a	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	A
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	d	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 食品に対する安心感や公共の場での禁煙状況等については、全ての市民の生活に密接に関わる施策であるため、市民生活実感調査を重視する。						年度	-
(原因分析) ・食の安全・安心に係る啓発等の推進により事業者の意識は高まっているものの、まだまだ事業者への制度の周知が十分に行き届いておらず、食の安全衛生管理認証制度のさらなる普及が必要と考えられる。 ・客観評価では、非喫煙率は増加しているが、目標には達しなかった。市民の実感では、公共の場での禁煙が進んでいるとの評価であり、分煙ならびに受動喫煙の防止が徹底されつつあるものと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	食鳥検査	74,647	64,704	かなり良い	保健福祉局
2	犬・猫の不妊手術	34,234	26,457	かなり良い	保健福祉局
3	食の安全・安心	88,056	99,121	かなり良い	保健福祉局
4	家庭用品衛生対策	3,074	3,222	かなり良い	保健福祉局
5	狂犬病予防	80,737	92,936	良い	保健福祉局
6	たばこ対策推進事業	1,897	88,944	良い	保健福祉局
7	そ族昆虫駆除対策	110,229	135,633	良い	保健福祉局
8	営業関係(環境)	91,466	121,461	良い	保健福祉局
9	各種事業助成(京都府生活衛生営業指導センター研修活動事業補助金)	1,681	1,681	かなり良い	保健福祉局
10	相談業務委託	681	681	かなり良い	保健福祉局
11	京都市共葬墓地	31,883	33,020	良い	保健福祉局
12	京都市中央斎場	359,320	372,978	かなり良い	保健福祉局
13	衛生環境研究所運営	752,912	697,100	-	保健福祉局
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・生食肉や食品等の放射能汚染等の社会問題化した事件、事故の発生により、食の安全・安心に対する市民の関心は一層高まっているため、食品事業者は元より市民一人ひとりの食の安全安心に対する意識向上、正しい知識の普及啓発に努め、安心な食生活の実現を目指していく。
 ・学校教育における喫煙防止教育の実施など、教育委員会と連携した取組や、禁煙推進に取り組む民間団体との連携、共汗・融合の観点から総合的な施策の推進に取り組んでいく。

施策名	1703	食や生活環境の安全・安心の確保					
指標名	京・食の安全衛生管理認証制度認証数（件）						
担当課	保健医療課		連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1			
1 指標の説明							
「京（みやこ）・食の安全衛生管理認証制度」を取得した事業者数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
食品等事業者における食品の安全衛生に係る取組状況を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	74	83	9件増	114	中長期目標のために当該年度達成すべき数値	72.8%	
	全国順位	中長期目標			備考	食の安全安心審議会の答申を受けて平成23年度3月に策定した「食の安全安心推進計画」により目標値を平成27年度までの新規取得累計を250件としている	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		324	27年度	25.6%	食の安全安心推進計画		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値が前回数値と比較して a: 40件以上の増加 b: 30件以上～40件未満の増加 c: 20件以上～30件未満の増加 d: 10件以上～20件未満の増加 e: 10件未満の増加			本件目標値は、増加数が毎年20件ずつ増加するものとして設定しており、24年度の評価基準の判定値では、最新数値の増加が40件となるよう設定している。 (23年度20件、24年度40件、25年度60件、26年度80件、27年度100件)		23	24	
					-	b	e

指標名	40歳以上75歳未満の非喫煙者の割合（％）						
担当課	保健医療課		連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1			
1 指標の説明							
40歳以上75歳未満のたばこを吸わない市民の割合							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
受動喫煙防止による健康増進への進捗状況を示す指標			算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、非喫煙率を算出 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	84.8	85.7	0.9ポイント増	87	京都未来まちづくりプランに掲示	98.5%	
	全国順位	中長期目標			備考	平成24年度以降の目標値は、平成23年度中に策定する「新・京都市たばこ対策行動指針（仮称）」（計画期間：平成23年度～27年度）において設定する。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		87	23年度	98.5%	京都未来まちづくりプラン		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値が a: 87%以上 b: 85.6%以上～87%未満 c: 84.3%以上～85.6%未満 d: 82.9%以上～84.3%未満 e: 82.9%未満			当該指標については、平成20年度の実績（82.9%）を基準値とし、中長期目標値の達成をa、基準値未満となることをeとして等間隔に割り振った。		23	24	
					-	c	b